

コマツ

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		D85EX/PX-18	
		適用号機		EX/PX:22001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位		
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度			
		ハイアイドルリング	min ⁻¹	2075±50	
		ローアイドルリング	min ⁻¹	775±25	
		トルコンストール状態	min ⁻¹	—	
		(冷却水温)	(℃)	60～100	
		(作動油温)	(℃)	45～55	
		エンジン油圧	kgf/cm ²	1.8以上	
		(油 温)	MPa	0.18以上	
	(回転速度)	(min ⁻¹)	60～100 ハイアイドル		
	弁すき間	吸気弁 隙間	mm	0.33	
排気弁 隙間 (測定条件)		mm	0.31 (常温)		
圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差 (エンジン油温) (回転速度)		kgf/cm ²	20以上		
		MPa	2.0以上		
		(℃)	40～60		
		(min ⁻¹)	200～250		
燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	kgf/cm ² KPa	コモンレール		
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	12～15		
	[測定位置・条件] [kgとNの両方で表記]	[N]	ファンプーリー～オルタネータプーリ間 指圧10kg(98N)		
動力伝達装置	クラッチペダル、インチングペダル デセル/ブレーキペダル		インチングペダル取り付け高さ	mm	
			インチングペダルの全ストローク	mm	
			デセルペダル(2段ばね)		
			X-Y	mm	
			Y-Z	mm	
	(図面番号表示)				
	ト ラ ン ス ミ 走 行 シ ク ヨ ラ ン ・ チ H ・ S T 油 圧	主クラッチ型	プースタ油圧	MPa	—
				kg/cm ²	
		ダイレクトシフト型	ミッション潤滑油圧	MPa	—
				kg/cm ²	
		流体継ぎ手型	トルコン油圧	MPa	0.98以下
				kg/cm ²	10以下
			ミッション潤滑油圧	MPa	0.6～0.8
				kg/cm ²	6.0～8.0
		クラッチ油圧	MPa	1.96以上	
			kg/cm ²	20以上	
HST	HST油圧	MPa	—		
		kg/cm ²			
(ミッション(HST)油温)		(℃)	70～80		
(エンジン回転速度)		(min ⁻¹)	ハイアイドル		
プロペラシャフト		ボルト締付けトルク	N・m kg・m	98～123 10.0～12.5	
ステアリング装置	レバー	レバーストローク			
		N～前後進	mm	30±10	
		N～左旋回	mm	40±15	
		N～右旋回	mm	40±15	
	ステアリングクラッチ油圧		MPa		
			kg/cm ² (℃) (rpm)	HSSモータ	

コマツ

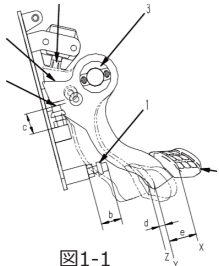
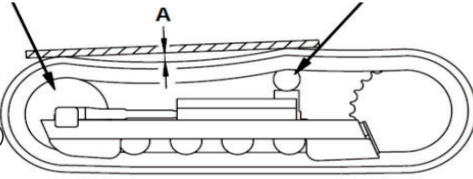
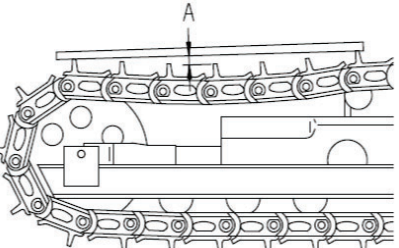
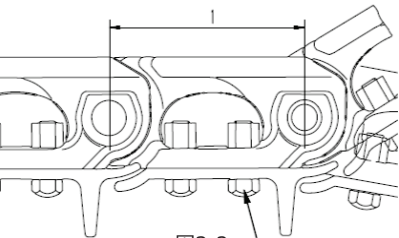
令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		D85EX/PX-18	
		適用号機		EX/PX:22001～	
区分	検査箇所	検査項目（条件）		単位	
走行装置	クローラベルト	ベルト	張り（たわみ量） 測定方法・条件 （図面番号表示）	mm	—
			張り（たわみ量） 測定方法・条件 （図面番号表示）	mm	EX:20～30 PX:10～15 アイドラ～キャリアローラ間 【図3-1】
		鉄 シ ユ ー	リンクピッチの伸び 測定方法・条件 （図面番号表示）	mm	219.3 1リンク 【図3-2】
			履板取付ボルト 締付けトルク	N・m(kg・m)	レギュラリンク:343±39(35±4) レギュラリンク(湿地):539±49(55±5) PLUSタイプレギュラリンク:392±39(40±4) マスタリンク:343±39(35±4) マスタリンク(湿地):343±39(35±4) PLUSタイプマスタリンク:588±59(60±6)
			増し締め角		レギュラリンク(PLUS共通):120±10° マスタリンク(PLUS共通):180+0,-20°
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 測定方法・条件		床面勾配 1/5以上	—
	作業装置	シリ ン ダ ー 自 然 伸 縮	ブル・ドーザー	ブレードリフトシリンダ 作業装置姿勢（図面番号）	mm
ブレードチルトシリンダ 作業装置姿勢（図面番号）				mm	100以下 【図4-2】
リッパリフトシリンダ 作業装置姿勢（図面番号）				mm	160以下 【図4-3】
リッパシヤンクシリンダ 作業装置姿勢（図面番号）				mm	—
（測定時間）				(分)	15
（作動油温）				(℃)	45～55
作 業 機 速 度		ブル・ドーザー	ブレード上げ 測定方法・条件 作業装置姿勢（図面番号）	秒	4.1以下 接地～上げエンド間 【図5-1】
			チルト 測定方法・条件 作業装置姿勢（図面番号）	秒	ストリートチルト:3.7以下 シグマドーザ:3.5以下 左チルトエンド～右チルトエンド間 【図5-2】
			アングル 測定方法・条件 作業装置姿勢（図面番号）	秒	— — —
			リッパ上げ 測定方法・条件 作業装置姿勢（図面番号）	秒	4.0以下 接地～上げエンド間 【図5-4】
		ブレードピッチイン/アウト 測定方法・条件 作業装置姿勢（図面番号） （エンジン回転速度） （作動油温）	秒 (℃)	ピッチイン:2.1以下 ピッチアウト:2.3以下 ブレードピッチインエンド～アウトエンド 【図5-5】 ハイアイドル 45～55	
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 （作動油温）		kg/cm ² MPa (℃)	218～242 21.4～23.7 45～55
	備考				

★印：新車基準値を表す。

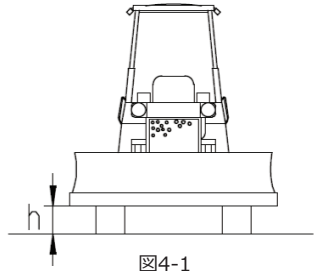
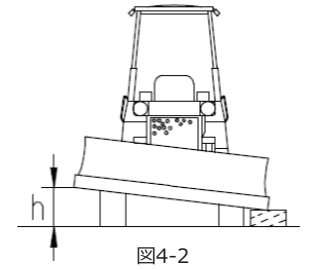
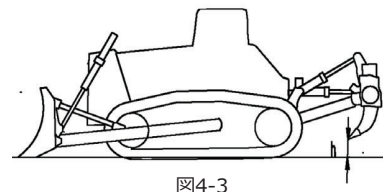
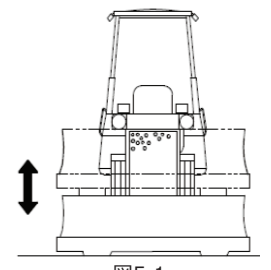
コマツ

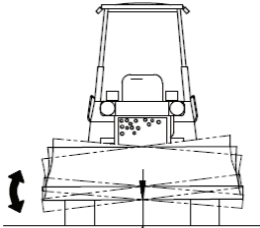
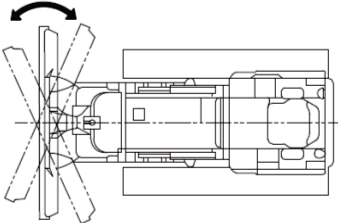
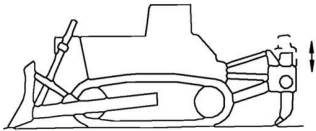
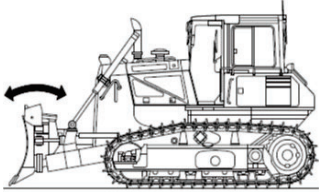
令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

項目	測定方法
デセルペダル(2段ばね) ストローク寸法	X-Y: $52.8 \pm 2\text{mm}$ Y-Z: $10 \pm 1\text{mm}$ ストップ高さ(b): $36.0 \pm 3.0\text{mm}$  図1-1
(ゴムシュー) 履帯の張り	アイドラからキャリアローラまで届く 角材などを履帯上に置き、角材 下面とゴムシュー上面のすきま(A) を測定する。  図2-1
(鉄シュー) 履帯の張り	アイドラからキャリアローラまで届く 角材などを履帯上に置き、角材 下面と履帯上面のすきま(A)を測 定する。  図3-1
リンクピッチの伸び	リンク間の寸法(1)を測定する。  図3-2

コマツ

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

項目	測定方法
シリンダ自然伸縮 ・ブレードリフトシリンダ	ブレードを上げストロークエンドまで 上げてエンジン停止し、15分経過 後の降下量(h)を測定する。  図4-1
・ブレードチルトシリンダ	ブレード側端をブロックに乗せ、チルト で機体をいっぱい上げてエンジ ン停止し、15分経過後の降下量 (h)を測定する。  図4-2
・リッパリフトシリンダ	リッパをいっぱい上げエンジン停 止し、15分後の降下量(h)を測 定する。  図4-3
作業機速度 ・ブレードリフト	ハイアイドルで、ブレード接地～上昇ス トロークエンド到達までの所要時間を 測定する。  図5-1

項目	測定方法
・左右チルト	ハイアイドルで、左(右)チルトストロークエンド～右(左)チルトストロークエンド到達までの所要時間を測定する。  図5-2
・左右アングル	ハイアイドルで、左(右)アングルストロークエンド～右(左)アングルストロークエンド到達までの所要時間を測定する。  図5-3
・リッパリフト	ハイアイドルで、リッパ接地～上昇ストロークエンド到達までの所要時間を測定する。  図5-4
・ブレードピッチ	ハイアイドルで、ブレードピッチアウトエンド～ピッチインエンド到達までの所要時間を測定する。  図5-5